

設問・単純集計結果

札幌市男女共同参画に関する市民意識調査 調査票

男女平等に関する意識についてお伺いします

問1 あなたは、次に挙げる分野で男女は平等になっていると思いますか。(1)から(8)までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ をつけてください。

(N=1,422)

| | 男性の方が 優遇されている | どちらかといえ ば男性が優遇さ れている | 平 等 に な っ て い る | ど ち ら か と い え ば 女 性 が 優 遇 さ れ て い る | 女性の方が 優遇されている | 分 か ら な い |
|--------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|--|------------------|-----------------------|
| (1) 家庭生活で | 13.2% | 38.8% | 30.4% | 7.5% | 2.1% | 6.4% |
| (2) 職場で | 21.9% | 42.8% | 16.7% | 4.4% | 1.8% | 8.6% |
| (3) 学校教育の場で | 3.2% | 16.2% | 49.9% | 3.5% | 0.3% | 22.1% |
| (4) 地域社会で | 9.3% | 38.7% | 28.3% | 7.5% | 1.1% | 11.5% |
| (5) 政治の場で | 35.9% | 39.6% | 11.7% | 1.1% | 0.6% | 7.7% |
| (6) 法律や制度の上で | 14.1% | 28.3% | 35.1% | 6.3% | 2.1% | 10.6% |
| (7) 社会通念や慣習で | 23.6% | 47.3% | 13.6% | 3.3% | 0.6% | 8.4% |
| (8) 社会全体で | 16.5% | 51.6% | 16.0% | 5.2% | 1.0% | 7.0% |

問2 あなたは、「男性は仕事、女性は家事や育児」という考え方について、どのように思いますか。
あてはまる番号に1つ をつけてください。

(N=1,422)

| | |
|-----------------|-------|
| 1 賛成である | 9.1% |
| 2 どちらかといえば賛成である | 37.4% |
| 3 どちらかといえば反対である | 24.7% |
| 4 反対である | 14.3% |
| 5 分からない | 6.1% |
| 6 その他 () | 7.3% |

問3 あなたは、政治や会社などにおいて、政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について、どのように考えますか。あてはまる番号に3つまで をつけてください。

(N=1,422)

| | |
|--------------------------------|-------|
| 1 男性優位の組織運営になっているから | 61.8% |
| 2 性別による男女の役割分担意識が強いから | 46.1% |
| 3 家族の支援・協力が得られないから | 27.8% |
| 4 女性側の積極性が十分でないから | 24.3% |
| 5 女性の能力を向上させる機会が不十分だから | 28.4% |
| 6 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから | 48.0% |
| 7 分からない | 4.9% |
| 8 その他 () | 3.9% |

仕事についてお伺いします

問4 あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号に1つ をつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|---|---------------------------------|-------|
| 1 | 子どもができて、ずっと働き続ける方がよい | 25.5% |
| 2 | 子どもができたなら退職し、育児が一段落した後、再び働く方がよい | 51.8% |
| 3 | 結婚を機会に仕事を辞め、家事・育児に専念する方がよい | 2.3% |
| 4 | 出産を機会に仕事を辞め、家事・育児に専念する方がよい | 5.4% |
| 5 | 女性は働かない方がよい | 0.6% |
| 6 | 分からない | 3.6% |
| 7 | その他 () | 7.4% |

問5 あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。あてはまる番号にいくつでも をつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----|-----------------------------|-------|
| 1 | 家族の理解や協力が得られない | 32.8% |
| 2 | 家事・育児・介護と仕事の両立が大変 | 83.1% |
| 3 | 保育施設や老人福祉施設、介護サービスなどが利用しにくい | 42.0% |
| 4 | 仕事をするための体力が続かない | 13.4% |
| 5 | 教育や研修の機会が少ない | 6.3% |
| 6 | 仕事や健康管理、職場環境などの相談窓口がない | 13.0% |
| 7 | パートから正規の社員になるのが難しい | 41.1% |
| 8 | 能力を正當に評価されない | 24.4% |
| 9 | 職場配置など仕事に偏りがある | 21.4% |
| 10 | 昇進・昇格・給与に男女格差がある | 37.9% |
| 11 | 中高年の女性に対し、退職の圧力がある | 20.9% |
| 12 | 結婚のとき、退職する慣行がある | 14.8% |
| 13 | 出産のとき、退職する慣行がある | 24.1% |
| 14 | 転勤や長時間労働 | 26.6% |
| 15 | 再就職するためにスキルアップする場が少ない | 22.4% |
| 16 | 支障となることは特にない | 2.1% |
| 17 | 分からない | 2.2% |
| 18 | その他 () | 3.3% |

問6 あなたは、男性が、法律に基づく育児休業や介護休業を利用することについてどう思いますか。あてはまる番号に1つ をつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|---|--------------------------------------|-------|
| 1 | 男性も育児休業・介護休業を積極的に取るべきである | 23.2% |
| 2 | 男性も育児休業・介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う | 66.5% |
| 3 | 育児・介護は女性がするべきであり、男性が休業制度を利用する必要はない | 4.4% |
| 4 | 分からない | 1.6% |
| 5 | その他 () | 1.3% |

家庭生活・地域活動についてお伺いします

問7 あなたは、結婚、家庭、離婚に関する次のような考え方について、どのようにお考えになりますか。(1)から(8)までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつをつけてください。

(N=1,422)

| | そう思う | どちらかという そう思う | どちらかという そう思わない | そう思わない | 分からない |
|--|-------|-----------------|-------------------|--------|-------|
| (1) 結婚はしてもしなくてもどちらでもよい | 29.8% | 16.7% | 15.0% | 30.0% | 3.5% |
| (2) 結婚しないで、子どもを持つことは良くない | 26.8% | 25.2% | 9.2% | 28.5% | 5.3% |
| (3) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない | 34.4% | 19.5% | 14.4% | 19.8% | 6.1% |
| (4) 自分自身の生活よりも子どものことを大切にしたい | 26.7% | 36.9% | 12.0% | 11.3% | 6.7% |
| (5) 子どもの世話の大部分は男性でも女性でもできる | 34.0% | 30.0% | 15.8% | 10.3% | 2.8% |
| (6) 親が仕事や自分の用事、趣味などのために託児など子育て支援サービスを活用してもよい | 44.3% | 30.5% | 9.8% | 7.4% | 3.1% |
| (7) 未成年の子どもがいる場合、事情があっても離婚しない方がよい | 16.9% | 21.5% | 17.4% | 30.7% | 8.9% |
| (8) 男性や女性の間では、結婚や子育て、仕事に対する考え方に違いがある | 45.1% | 35.6% | 5.2% | 4.4% | 5.1% |

<現在、結婚している方にお伺いします>

問8 あなたの家庭では、次の(1)から(9)までを主にどなたが担当していますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つずつをつけてください。

(N=1,039)

| | 主に自分 | 自分と配偶者が 同じくらい | 主に配偶者 | 親や兄弟、 子など | 家族以外の人 | 必要ない |
|----------------|-------|------------------|-------|--------------|--------|-------|
| (1) 世帯の収入を得る | 31.2% | 13.0% | 40.0% | 0.4% | 0.1% | 0.3% |
| (2) 家計の管理 | 42.0% | 13.8% | 29.4% | 0.5% | 0.0% | 0.0% |
| (3) 食事の用意 | 47.8% | 6.1% | 30.2% | 1.1% | 0.2% | 0.4% |
| (4) 洗濯・掃除 | 46.2% | 9.8% | 28.6% | 0.9% | 0.2% | 0.2% |
| (5) 町内会などの地域活動 | 33.3% | 17.4% | 17.8% | 2.5% | 1.7% | 10.3% |
| (6) 乳幼児の育児 | 31.3% | 7.4% | 19.7% | 0.8% | 0.0% | 19.2% |
| (7) 子どもの教育・しつけ | 25.7% | 27.3% | 10.1% | 0.7% | 0.0% | 15.9% |
| (8) 学校などの行事参加 | 32.5% | 9.5% | 18.7% | 0.5% | 0.0% | 18.1% |
| (9) 高齢者などの介護 | 20.4% | 12.3% | 11.4% | 2.5% | 1.7% | 30.9% |

問9 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思えますか。あてはまる番号にいくつでもをつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----|------------------------------------|-------|
| 1 | 男性が家事などに参加することについて男性自身の抵抗感をなくすこと | 57.6% |
| 2 | 男性が家事などに参加することについて女性自身の抵抗感をなくすこと | 19.5% |
| 3 | 男性が家事などに参加することについての社会的評価を高めること | 45.1% |
| 4 | 家事などを男女で分担するようしつけや育て方をすること | 49.9% |
| 5 | 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること | 66.5% |
| 6 | まわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること | 31.8% |
| 7 | 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること | 41.6% |
| 8 | 労働時間短縮や休暇制度を充実させ、利用を促進すること | 44.4% |
| 9 | 男性が家事などについての関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと | 27.4% |
| 10 | 国や市などが講座等を開催し、男性の家事などの技能を高めること | 12.9% |
| 11 | 仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること | 19.2% |
| 12 | 分からない | 2.5% |
| 13 | その他() | 2.3% |

問10 ご家族が介護を必要とするようになった場合の担い手について、あなたはどのように考えますか。あてはまる番号に1つをつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|---|--|-------|
| 1 | 男性も女性も同じように介護すべきである | 42.7% |
| 2 | 介護は体力が必要なことが多いので、男性が介護すべきである | 1.9% |
| 3 | 女性に過剰な負担がかからないように、男性も出来るだけ介護にかかわるほうがよい | 42.8% |
| 4 | 労働時間の現状などからみて、女性に介護の負担が集中するのはやむを得ない | 5.1% |
| 5 | 介護は女性の役割だと思う | 0.8% |
| 6 | 分からない | 1.5% |
| 7 | その他() | 2.0% |

問11 あなたは、男性と女性のそれぞれについて、仕事と家庭生活・地域活動の関係をどのように位置付けるのが望ましいと思えますか。(1)・(2)の、あてはまる番号に1つずつをつけてください。

(N=1,422)

| | 専念する 家庭生活・ 地域活動 に | 仕事にも 優先させる が、地域 活動も 優先させる | 両立させる ように 同じよ | 地域活動 を優先 させる が、地 域活動 も優先 させる | 専念する 生活・地 域活動 に | 仕事よりも 地域活動 に | 分からない |
|--------|----------------------------|---------------------------------------|---------------------|--|--------------------------|--------------------|-------|
| (1) 男性 | 13.9% | 47.0% | 24.9% | 1.8% | 0.4% | 4.4% | |
| (2) 女性 | 0.6% | 10.1% | 38.8% | 25.8% | 6.7% | 7.2% | |

男女の人権についてお伺いします

問 12 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。あてはまる番号にいくつでもをつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----|------------------------------------|-------|
| 1 | 売春・買春 | 30.0% |
| 2 | 女性の働く風俗営業 | 25.7% |
| 3 | セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ) | 54.3% |
| 4 | 女性の体の一部やこびたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告など | 19.6% |
| 5 | 女性の容姿を競うコンテスト | 10.1% |
| 6 | 家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力 | 45.0% |
| 7 | ストーカー行為(つきまとい行為) | 31.0% |
| 8 | 痴漢行為 | 46.0% |
| 9 | 昇給・昇進・給与の格差など、職場における男女の待遇の違い | 50.2% |
| 10 | 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など) | 45.6% |
| 11 | 分からない | 6.5% |
| 12 | その他() | 1.8% |

問 13 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人、パートナーから相手に対して行われた場合、暴力だと思えますか。(1)から(12)までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつをつけてください。

(N=1,422)

| | どのよう な場合でも 暴力にあ たると思 う | 暴力にあ たる場合 とそうで ない場合 がある と思 う | 暴力にあ たると 思わ ない | 分 ら な い |
|---------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------|------------------|
| (1) 平手で打つ | 59.5% | 33.5% | 1.6% | 1.2% |
| (2) 足で蹴る | 81.6% | 12.7% | 0.7% | 1.2% |
| (3) 身体を傷付ける可能性のある物などで殴る | 92.3% | 2.7% | 0.5% | 0.8% |
| (4) 殴るふりをして脅す | 53.7% | 32.4% | 6.1% | 2.2% |
| (5) 刃物などを突きつけて脅す | 91.1% | 3.1% | 0.6% | 0.9% |
| (6) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強制する | 74.8% | 17.2% | 1.3% | 2.4% |
| (7) 見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる | 56.3% | 21.7% | 10.5% | 7.3% |
| (8) 何を言っても長時間無視し続ける | 37.5% | 35.0% | 15.5% | 7.5% |
| (9) 交友関係や電話を細かく監視する | 38.3% | 33.0% | 15.9% | 7.6% |
| (10) 「誰のおかげで生活できるのだ」とか「役立たず」と言う | 63.9% | 22.4% | 6.8% | 2.7% |
| (11) 大声でどなる | 50.4% | 35.2% | 7.5% | 2.5% |
| (12) 生活費を渡さない | 62.4% | 19.7% | 7.5% | 6.5% |

問 14 あなたは、配偶者や恋人、パートナーなど親密な関係にある人からの暴力、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について相談できる窓口があることを知っていますか。あてはまる番号にいくつでも をつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----|--------------------------|-------|
| 1 | 札幌市配偶者暴力相談センター（DV相談センター） | 35.8% |
| 2 | 札幌市男女共同参画室 | 7.5% |
| 3 | 各区役所 | 21.0% |
| 4 | 警察 | 66.5% |
| 5 | 北海道立女性相談援助センター | 15.8% |
| 6 | 石狩振興局 | 0.8% |
| 7 | 民間団体 | 5.8% |
| 8 | 女性の人権ホットライン | 19.7% |
| 9 | 法テラス札幌 | 10.8% |
| 10 | 知っているものはない | 14.9% |
| 11 | その他（) | 1.2% |

問 15-1 あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。あてはまる番号にいくつでも をつけてください。

(N=1,422)

| | | | |
|---|---------------------------|-----------------|-------|
| 1 | 自分が直接経験したことがある | —————> 問 15-2 へ | 6.9% |
| 2 | 相談を受けたことがある | | 7.0% |
| 3 | 相談を受けたことはないが、当事者を知っている | | 11.5% |
| 4 | テレビや新聞などで問題になっていることは知っている | | 69.5% |
| 5 | 見聞きしたことはない | | 17.2% |
| 6 | 分からない | | 4.5% |
| 7 | その他（) | | 0.8% |

<問 15-1 で「1 自分が直接経験したことがある」と答えた方にお伺いします>

問 15-2 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）について、どこかに相談しましたか。あてはまる番号にいくつでも をつけてください。

(N=98)

| | | |
|---|---------|-------|
| 1 | 家族・親族 | 30.6% |
| 2 | 友人・知人 | 36.7% |
| 3 | 警察 | 11.2% |
| 4 | 医師 | 6.1% |
| 5 | 弁護士 | 8.2% |
| 6 | 行政の相談機関 | 7.1% |
| 7 | 民間の相談機関 | 2.0% |
| 8 | 相談しなかった | 45.9% |
| 9 | その他（) | 5.1% |

問 16 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）防止の取組としてどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで をつけてください。 (N=1,422)

| | | |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | 暴力防止のための啓発を進める | 18.4% |
| 2 | 被害を受け悩んでいる人へ情報を提供する | 20.7% |
| 3 | 被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する | 48.8% |
| 4 | 被害者を保護する体制を充実する | 57.7% |
| 5 | 被害者が自立して生活できるように支援する | 37.2% |
| 6 | 若年層への未然防止の取組を進める | 17.3% |
| 7 | 暴力をふるう加害者への対策を進める | 47.5% |
| 8 | 分からない | 4.6% |
| 9 | その他 () | 1.9% |

問 17 あなたは、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。あてはまる番号にいくつでも をつけてください。 (N=1,422)

| | | |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | 自分が直接経験したことがある | 10.7% |
| 2 | 相談を受けたことがある | 6.0% |
| 3 | 相談を受けたことはないが、当事者を知っている | 8.7% |
| 4 | テレビや新聞などで問題になっていることは知っている | 70.8% |
| 5 | 見聞きしたことはない | 15.9% |
| 6 | 分からない | 4.3% |
| 7 | その他 () | 0.6% |

問 18 あなたは、テレビや新聞、雑誌などを見て、次の（1）から（3）までのように感じたことがありますか。（1）から（3）までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ をつけてください。 (N=1,422)

| | よく感じる | 感じる ときどき | 感じない | 分からない |
|-------------------------|-------|-------------|-------|-------|
| (1) 女性の性的側面を強調している | 17.8% | 51.5% | 12.2% | 13.4% |
| (2) 女性に対する暴力を助長するおそれがある | 8.4% | 41.9% | 26.5% | 17.5% |
| (3) 女性や男性の役割を固定的にとらえている | 12.2% | 44.1% | 18.1% | 20.0% |

問 19 あなたは、女性の生涯にわたる健康づくりのための支援策として何が必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで をつけてください。 (N=1,422)

| | | |
|---|----------------------|-------|
| 1 | 女性の健康に関する講座等の学習機会の充実 | 28.3% |
| 2 | 女性の健康に関する情報の提供 | 55.3% |
| 3 | 公的機関での相談 | 29.6% |
| 4 | 医療機関での女性専門外来の設置 | 60.8% |
| 5 | 学校における女性の健康に関する教育の推進 | 40.9% |
| 6 | 分からない | 6.8% |
| 7 | その他 () | 3.1% |

男女共同参画に関する施策についてお伺いします

問 20 あなたは、男女共同参画に関する事項について、どの程度ご存じですか。(1)から(14)までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつをつけてください。(N=1,422)

| | 内容まで知っている | 見聞きしたことはある | 知らない |
|--|-----------|------------|-------|
| (1) 男女共同参画社会 | 3.9% | 39.9% | 50.5% |
| (2) 男女共同参画社会基本法 | 3.2% | 28.3% | 62.4% |
| (3) 男女雇用機会均等法 | 25.6% | 56.3% | 12.8% |
| (4) 育児・介護休業法 | 22.2% | 60.9% | 11.8% |
| (5) ストーカー規制法 | 17.2% | 65.6% | 12.4% |
| (6) 配偶者暴力防止法(DV防止法) | 11.9% | 62.2% | 20.4% |
| (7) ポジティブ・アクション(積極的改善措置) | 1.1% | 12.7% | 79.3% |
| (8) ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別) | 7.0% | 24.1% | 62.7% |
| (9) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する女性の健康と権利) | 1.2% | 9.9% | 82.7% |
| (10) 札幌市男女共同参画推進条例 | 1.8% | 23.6% | 68.9% |
| (11) 男女共同参画さっぽろプラン | 1.3% | 14.2% | 78.5% |
| (12) 札幌市配偶者暴力防止基本計画 (DV防止基本計画) | 1.8% | 20.6% | 71.9% |
| (13) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) | 4.6% | 20.3% | 68.8% |
| (14) 女子差別撤廃条約 | 3.9% | 27.1% | 63.0% |

問 21-1 男女共同参画の推進に関する活動の総合的な拠点施設として「札幌市男女共同参画センター」(所在地：札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内)があります。あなたは、札幌市男女共同参画センターを利用したことがありますか。あてはまる番号に1つをつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----------------------------------|----------|-------|
| 1 利用したことがある | 問 21-2 へ | 3.7% |
| 2 男女共同参画センターのことは知っているが、利用したことはない | | 19.5% |
| 3 男女共同参画センターがあることを知らなかった | | 70.4% |

<問 21-1 で「1 利用したことがある」又は「2 男女共同参画センターのことは知っているが、利用したことはない」と答えた方にお伺いします>

問 21-2 あなたは、札幌市男女共同参画センターで行われている事業について、どの程度ご存じですか。あてはまる番号にいくつでもをつけてください。

(N=331)

| | |
|--------------------|-------|
| 1 各種講座や講演会 | 42.3% |
| 2 電話相談・面接相談 | 28.1% |
| 3 男女共同参画情報誌「りぶる」 | 12.7% |
| 4 研修室などの有料貸室 | 22.7% |
| 5 情報センター(図書資料等の提供) | 23.0% |
| 6 知っているものはない | 17.8% |

問 22 あなたは、男女共同参画社会()を目指すためには、学校教育の分野ではどのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。あてはまる番号に3つまで をつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----|-------------------------------------|-------|
| 1 | 男女平等についての授業を行う | 35.8% |
| 2 | 家庭科などを通じて性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える | 47.0% |
| 3 | 性別にかかわらず児童・生徒の個性や能力に応じた生活指導・進路指導を行う | 47.3% |
| 4 | 互いの性を尊重しあうことや子どもを産み育てることの大切さを教える | 50.1% |
| 5 | 名簿について、男女を分けない | 4.8% |
| 6 | 学校生活での児童・生徒の役割分担を男女平等にする | 24.5% |
| 7 | 女性の校長や教頭を増やす | 10.6% |
| 8 | 校長や教員などに対し、男女平等についての研修を行う | 13.6% |
| 9 | 保護者に対し、パンフレットの配布等により男女平等についての理解を促す | 11.8% |
| 10 | 分からない | 4.6% |
| 11 | その他() | 1.8% |

()男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」をいいます。

問 23 あなたは、男女共同参画社会を目指すためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで をつけてください。

(N=1,422)

| | | |
|----|--|-------|
| 1 | 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改める | 33.1% |
| 2 | 女性に対する偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改める | 44.6% |
| 3 | 女性を政策決定の場に積極的に登用する | 20.0% |
| 4 | 各種団体の女性のリーダーを養成する | 10.3% |
| 5 | 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する | 27.0% |
| 6 | 女性の社会進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実する | 17.4% |
| 7 | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスを充実する | 23.4% |
| 8 | 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 30.2% |
| 9 | 女性の健康増進と母性保護の充実を一層進める | 13.5% |
| 10 | 男女共同参画についての相談窓口を充実する | 5.7% |
| 11 | 男女の平等と相互の理解や協力についての広報・啓発を進める | 10.5% |
| 12 | 分からない | 7.5% |
| 13 | その他() | 1.3% |

問 24 男女共同参画に関する市政へのご意見・ご要望があれば記入してください。

最後に、あなた自身のことについてお伺いします

F 1 年齢はおいくつですか。(平成 23 年 7 月 1 日現在)

(N=1,422)

| | |
|----------|-------|
| 1 20 歳代 | 9.1% |
| 2 30 歳代 | 15.3% |
| 3 40 歳代 | 15.5% |
| 4 50 歳代 | 15.0% |
| 5 60 歳代 | 20.1% |
| 6 70 歳以上 | 16.0% |

F 2 性別を教えてください。

(N=1,422)

| | |
|-------|-------|
| 1 女 性 | 56.0% |
| 2 男 性 | 34.7% |

F 3 職業を教えてください。

(N=1,422)

| | |
|-----------------|-------|
| 1 会社・団体などの役員 | 3.9% |
| 2 正規の社員・職員 | 21.4% |
| 3 派遣・契約社員 | 6.0% |
| 4 パートタイマー・アルバイト | 11.8% |
| 5 自由業・自営業・家族従業 | 7.1% |
| 6 家事専業 | 14.6% |
| 7 学 生 | 0.8% |
| 8 無 職 | 22.3% |
| 9 その他 () | 2.4% |

F 4 結婚していますか。

(N=1,422)

| | |
|--------------------|-------|
| 1 未 婚 | 17.7% |
| 2 既婚 (配偶者等 () あり) | 60.3% |
| 3 既婚 (配偶者等と離別・死別) | 12.8% |

() 配偶者等には、婚姻届を出していない事実婚のパートナーを含みます。

F 5 同居しているご家族の構成を教えてください。

(N=1,422)

| | |
|-----------------|-------|
| 1 ひとり暮らし | 14.9% |
| 2 夫婦 (カップル) だけ | 28.6% |
| 3 親と子ども (二世帯) | 37.1% |
| 4 祖父母と親と子 (三世帯) | 4.8% |
| 5 その他 () | 5.3% |

ご協力ありがとうございました